憩いの庭

北新潟キリスト教会新聞　№３０
２０２３年３月２６日(日)発行（季刊）

「主は私の羊飼い。主は私を緑の牧場に伏させ、
いこいのみぎわに伴われます。」
（旧約聖書・詩篇２３篇１～２節）

「イースター」　　　　　牧師　原山康伸

雪解けの土の間から春蘭、福寿草、水仙などが花を咲かせています。この季節、教会暦では、すべての人の罪の負債を引き受けて十字架死をとげられたイエス・キリストが、死後三日目に復活されたことを記念するイースターが巡ってきます。

＜疑いから信仰に＞

主イエス様が墓の中からよみがえられた日曜日の夕方のこと、ユダヤ教当局の手を恐れて戸を閉ざし密室にこもっていた弟子たちの真中に、「シャローム（平安があなたがたにあるように)」と仰せられ、よみがえりのイエスさまがみ姿を現わされました。この時、弟子たちの中でひとりトマスだけがその場に居合わせず、イエス・キリストの復活を疑い、「私はその手の釘跡に指を入れ、その脇腹の傷跡に手を入れてみなければ信じない」と、言い張ったのです。

しかしそれから１週間後、密室に再びイエス様が入ってこられ、疑い深いトマスの前に立ち、「あなたの指をここに当てて、私の手を見なさい。手を伸ばして、わたしの脇腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい」（ヨハネの福音書 20 章 27 節）と言われたのです。

トマスは十字架上の傷跡をとどめたイエス様の姿を直視したとき、「私の主、私の神よ」と呼び求めて一直線に信仰に入りました。その時のトマスの姿の中に、信仰の本質が示されているのではないでしょうか。トマスは疑いました。しかし、真剣に主イエス様を求めるあまり疑ったのです。アウグスチヌスは「私は疑う。だから真理がある」と言いました。パスカルは「人は疑うべき時、確信すべき時、委ねるべき時をわきまえるべきだ」と言いました。真剣な魂の飢え渇きを、主イエス様は必ずや満たしてくださいます。

＜揺れ動く時代に＞

東日本大震災から 12 年が経ちました。コロナ感染症禍の日々が３年になります。ロシアによるウクライナ侵略戦争は１年経っても停戦の見通しが立ちません。この罪深い人間の歴史に対して、主イエス様は次のように預言されました。

「人に惑わされないように気をつけなさい。わたしの名を名乗る者が大勢現れ、『私こそキリストだ』と言って、多くの人を惑わします。また、戦争や戦争のうわさを聞くことになりますが、気をつけて、うろたえないようにしなさい。・・民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、あちこちで飢饉と地震が起こります。・・そのとき多くの人がつまずき、互いに裏切り、憎み合います。・・不法がはびこるので、多くの人の愛が冷えます。しかし、最後まで耐え忍ぶ人は救われます。・・天地は消え去ります。しかし、わたしのことばは決して消え去ることがありません。・・ですから、目を覚ましていなさい。あなたがたの主が来られるのがいつの日なのか、あなたがたは知らないのですから。ですから、あなたがたも用心していなさい。人の子は思いがけない時に来るのです。」（マタイの福音書 24 章より）　揺れ動く時代にあって、トマスのように、イエス・キリストのことばに真剣に向き合ってごらんになりませんか？

４月９日(日)イースター礼拝　午前 10：30～

＊どなたもお出かけください。

「炎のランナー」

教会員　曽我あけみ

　ある日の聖書を読む会で、讃美歌や新聖歌の中から好きな歌や思い出の歌を皆で賛美するという時間が持たれました。息子の番が来て「僕には大切にしている歌があります。それは故池田勇人先生(松浜キリスト教会３代目牧師・さんび園初代園長)が、僕のために作って下さった“炎のランナー”という歌です。」と答えたのです。それは３５年以上も前の事なので、私は驚くと同時に息子が覚えていてくれた事をとても嬉しく思いました。

　息子は乳幼児の頃より発育が遅く、こども療育センターで身体を動かす訓練を続けていました。私は子供の成長には愛ある人の手と声掛け、そして子供同士の遊びが大切であると考えていました。さんび園には、少人数制で真剣に子供と接してくれる園を求めての転園でした。でも、園庭のない園でそれは可能かと一抹の不安を抱えていました。そんな私の心中を見透かしたかのように、池田先生自ら連絡帳に次の様に書いてくださいました。「私はひとりの子供だけを特別扱いはしません。全部の子供ひとりひとりが特別扱いなのですから」と。園の方針と姿勢に安心して息子を託すことが出来ました。先生は「園長かいじゅう」と園児から呼び親しまれ、いつもまとい付かれている程の人気者でした。息子の卒園と同時に先生ご家族は霞が関キリスト教会(埼玉県)へと赴任されて行かれました。　🌸　🌸

　息子が小学校１年の秋、学校行事のマラソン大会がありました。運動面で問題のある息子が果たして完走できるか不安の中、ゴール地点で待っていると最後の集団の中に息子の姿があります。とうとう走り切ったのです。それも３５位です。完走するだけでも偉いのに、親子共々飛び上がって喜び合ったのでした。そして早速この嬉しいニュースを先生にもご報告しました。すると２～３日後、一枚の楽譜が届いたのです。これが“炎のランナー”です。息子の半生はいじめや多くの困難があり平坦な道のりではありませんでした。この歌をいつも身近に置き慰め励まされ、時には勇気や希望も頂いてきました。息子にとってこの歌は先生からの最高のプレゼントであり応援歌でもあるのです。

「炎のランナー」

詩：花達夢里（カタツムリ）
曲：谷野百合（タニノユリ）

１．君が走りぬいたと手紙で知った時　いいぞやったねと　思わず叫んでいた　ゴールまでの時間は　やたらと長いものさ
だけど君は光の中を駆ける　炎のランナー

２．君は明るく笑顔で挨拶　いつもしてる　オハヨウ　ボクたち友達　さあ遊ぼう　でもね
知らんぷりする　小さい奴もいるね　だけど君は光の中を駆ける　炎のランナー

３．自分はどうしてもダメだと　泣きたくなる時　君を愛して祈っている人がいる　見えるものにではなく　イエス様と腕を組んで　だから君は光の中を駆ける　炎のランナー

＊花達夢里、谷野百合は、池田先生のペンネームです。

＜北新潟キリスト教会の集会案内＞

主日礼拝(日曜日)午前１０：３０～１２：００
教会学校(日曜日)午前　９：３０～１０：００
聖書の学びと祈り会(水曜日)午後７：30～9:00
聖書を読む会(木曜日)午前 10：00～11：30
俳句同好会(第１火曜日)午前 10：00～11：30
ほっと会（第２火曜日）午前 9：30～11：30
聖句書道同好会(第４火曜)午前 10：00～12：00

〒950-3112 新潟市北区太夫浜 2040-1
日本同盟基督教団　北新潟キリスト教会
牧師：原山康伸
℡025(259)4491(旧松浜教会、附属さんび園同窓会事務所)
＜ホームページ＞http://www.kitaniigata-church.com

＊当教会は、聖書を大切にするプロテスタント教会で、エホバの証人（ものみの塔）や世界平和統一家庭連合(旧統一教会)、モルモン教等とは関係がありません。安心してお出かけください。